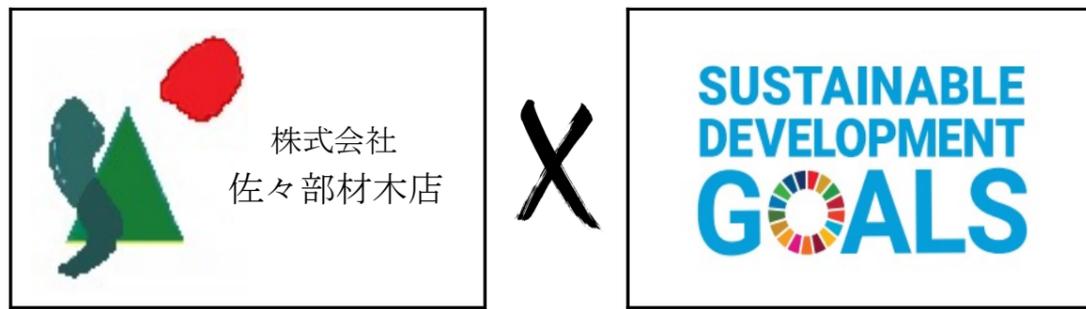


佐々部材木店のSDGsへの取り組み



Sustainable Development Goals

SDGsとは

1945年以来多くの経済的、社会的変化が起こる中、国連は国際的な課題に対し開発目標を策定し促進する場を提供しています。その課題とは女性の地位の向上、人権、持続可能な開発、環境保全、良い統治のような問題で、促進する為にサミットを開いています。
2000年に国連ミレニアムサミットが開かれ、加盟国は2015年までに達成すべきミレニアム開発目標MDGsを採択、多くの開発目標が建てられ、2012年成果検討が行われました。
その結果を踏まえ2015年にMDGsを引き継ぎ、さらに発展させる為に持続可能な開発目標SDGsを採択しました。2030年までに終わらせること、2030年以降も持続させることが内容に含まれています。

佐々部材木店のSDGsへの取り組み

現在国土の3分の2を占めている山林は、水を育くむ、気候変動を緩和する、山林災害を防止するなどの多面的機能を持っており、この多面的機能の発揮が様々なSDGsに貢献しています。さらに、森林を利用するという行為が様々なSDGsに貢献し、そこから生み出される恵みを森林整備保全に還元させることで持続可能な大きな循環を作出することが重要です。(林野庁HPから抜粋)

環境



弊社は山林伐採をするわけではありませんが、木製パレットの生産や在来工法の建築により山林資源の活用をしています。
山林は戦後植林された木が伐採期を迎えています。戦後と現在では生活様式や建築様式が大きく変わっており、木材の価格は大きく下落しました。
その為山林を管理するコスト捻出が難しくなり山林は今大きく荒れています。
ですが山林を整備しなければ山林災害、水質の悪化、温室効果ガス対策であるCO2削減等に非常に大きな影響を及ぼします。
さらには海外では組織的な犯罪である違法伐採により軍隊が出動する事態が起きています。
弊社は山林の整備や合法伐採された国産材、間伐材、合法伐採された外国産木材で作る合板の積極的な使用により山林の維持管理に貢献しています。

職場環境



弊社では職場環境としてまず女性活躍を推進しています。
まずこの業界ですが、やはり男性が多い特徴があります。
新卒者の女性の積極採用を行っております。営業、工務等女性採用実績と高い定着率。
国籍、人種、年齢、性別、性的指向、性自認、学歴、宗教、思想信条、身体条件等に関わりなく、多様性を尊重し、これらに基づく差別及び評価の判断基準と致しません。
社員の技術向上に取り組み、極力残業しない体制をとることで働きがいのある職場構築に取り組んでいます。

木質化の推進



木材は再生可能なエネルギーの一つです。
特に木製のパレットは循環型資源である木材を使用し、製品が破損した場合でも修理が可能。さらに製造、加工時に消費するエネルギー量が鉄、プラスチックに比べ著しく小さく、地球環境に優しい製品であるといえます。
以前は外国産の木材が多かったのですが現在は国内の木材、桧や杉の間伐材が多く使用されています。また木製パレットは大規模輸送を可能にし輸送コストを抑え交通の安全性にも役立っています。
ただし、やはり木くずが出るという問題点がある為改善のために研究開発を行っています。